

花粉アレルギー試験 (スギ花粉)

JFRL 第 16028815001-0101 号 page 1/3
2016 年 (平成 28 年) 04 月 20 日

試験報告書

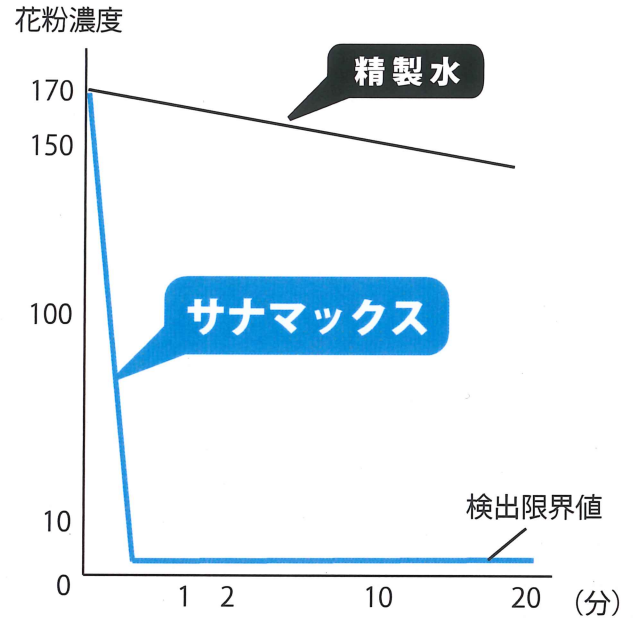
依頼者 株式会社 アンゲネーム

検体 サナマックス

表題 スギアレルゲン (Cryj1) の測定

2016 年 (平成 28 年) 03 月 14 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

日本食品分析センター



JFRL 第 16028815001-0101 号 page 2/3

スギアレルゲン (Cryj1) の測定

1 依頼者
株式会社 アンゲネーム

2 検体
サナマックス

3 試験目的
検体とアレルゲン溶液を混合した試験液中のアレルゲン濃度をELISA法により測定する。

4 試験方法

- アレルゲン溶液の調製
精製スギ花粉抗原(Cryj1)[株式会社 林原]を緩衝液(0.05 %Tween20を含むリン酸緩衝食塩水)を用いて希釈した。
- 試験液の調製
検体に、1)で調製したスギアレルゲン溶液を混合した直後及び20分後のものを試験液とした。検体の代わりに水を用いて試験液と同様に調製したものを対照試験液とした。
- ELISA測定
回収した試験液及び対照試験液中のCryj1濃度をTAC[®] Cryj1 ELISA KIT[株式会社 シバヤギ]を用いて測定した(測定波長: 450 nm 副波長: 620 nm)。
- 使用機器
プレートリーダー: VERSAmix[日本モレキュラーデバイス株式会社]

日本食品分析センター

JFRL 第 16028815001-0101 号 page 3/3

5 試験結果
試験結果を表-1に示した。

表-1 Cryj1測定結果 (ng/mL)

試験液	反応時間	
	直後	20分後
試験液	検出せず*	検出せず*
対照試験液	170	140

* 定量下限 1.6 ng/mL

以上

日本食品分析センター